

平成29年度 第57回 米子市美術展覧会(市展) 市展賞受賞作品講評

洋画部門

ふりがな	はしもと さくこ	ふりがな	ぬのじょう せいぶつ
氏名又は 雅号	橋本 早公子	作品名	布上の静物
<p>ブラックを思わせる画面構成である。</p> <p>筆さばきかろやかに、思い切った色彩とダイナミックな迫力が見るものを圧倒させる。</p> <p>(評者:石田しのぶ)</p>			

ふりがな	たまいつかさ・くろみゆみこ	ふりがな	
氏名又は 雅号	玉井詞・黒見由美子	作品名	こだま
<p>玉井さん、黒見さん両氏による市展はじめての共同作品である。</p> <p>画面全体をおおうとばされたドット模様にはリズム感があり、ところどころにコラージュもあって、描く楽しさ、喜びが伝わってきた。</p> <p>(評者:石田しのぶ)</p>			

日本画部門

(該当作品なし)

書道部門

ふりがな	たかしま そうせつ	ふりがな	みち
氏名又は 雅号	高島 早雪	作品名	おくのほそ道
<p>有名な「奥の細道」の冒頭を漢字、仮名交じりの書の表現スタイルで書作された。</p> <p>この作品の見どころといえば、漢字に墨を入れ仮名の部分は控えめにして作品全体に立体感をかもし出した点であろう。</p> <p>(評者:船原 濤軒)</p>			

ふりがな	まつばら きく	ふりがな	かじつゆうざんじ
氏名又は 雅号	松原 喜久	作品名	夏日遊山寺
<p>王鐸風と良寛風を織り混ぜリズム感をもって書き進められた快い作品となっている。</p> <p>(評者:藤山 雅鳳)</p>			

ふりがな	まつもと きゆうひん	ふりがな	こうせいきゆうし
氏名又は 雅号	松本 弓濱	作品名	高青邱詩
<p>受賞者は、これまでタテに書く制作スタイルを通してきた。</p> <p>ヨコに展開する制作経験の皆無の中で、このようにまとまった作品に仕上げる力量は強く印象に残った。王羲之ないし宋代の書風に現代性を加味した佳作です。</p> <p>(評者:船原 濤軒)</p>			

写真部門

ふりがな	まつもと としあき	ふりがな	にちようび ご ご
氏名又は 雅号	松本 利秋	作品名	日曜日の午後
光のあつかいが上手です。			
逆光に綿毛と少年のラインライトが情感よく表現されています。			
(評者:小磯 保弘)			

ふりがな	おおた かずお	ふりがな	ばん か
氏名又は 雅号	大田 和夫	作品名	晩 夏
どぎつい雲と少年のうしろ姿が、去り行く夏をうまく表現しています。全体のバランスも良いです。			
(評者:足立 智子)			

工芸部門

ふりがな	かみたに こ	ふりがな	
氏名又は 雅号	紙谷 かよ子	作品名	たまゆら
技法はステンドグラスだが、丸い玉の中にもうひとつの玉を封じ込めるという高度な作業をうまく全体がバランスよくまとめられている。			
流木を利用して造ったランプベースも、ランプの丸いフォルムをより引き立てており良い作品になっている。			
(評者:大谷 治)			

ふりがな	たけだ たかし	ふりがな	りょくう
氏名又は 雅号	武田 隆	作品名	緑 雨
焼上が42cmの出来上がりの作品はロクロで造る時は50cmの大きさを引くのに粘土を10kgが必要、それを一気に引き上げます。			
粘土の中に砂鉄もしくはもう少し大き目の鉄粉を混入して緑釉を掛けて焼き上げて鉄の流れで雨を表現された作品に仕上げた品で中々の力作と思います。			
(評者:安藤 釉三)			

彫刻部門

ふりがな	むねうち しょうじ	ふりがな	ほそかわ
氏名又は 雅号	宗内 彰志	作品名	細川ガラシャ
立体的なバランス感覚が優れ、デフォルメされた形に落ち着いた雰囲気がつくり出されている。また粘土素材の処理も巧みで、着色も効果的で静かな中にも気品の高い作品となっている。布素材の活用も効果的である。今後一層研鑽され、独創的なテーマに挑戦されることを期待したい。			
(評者:湯原 剛文)			